

# 未来へつなぐ

Vol.  
138

文／本間 吾里砂

車いすスペースの拡大、バリアフリー講習会の実施などハード・ソフトの両面からバリアフリーを推進しています

## 車両の車いすスペースを 一カ所から二カ所へ増設

二〇〇六年、高齢者や障害のある人が日常や社会において自立した生活を送れるよう「バリアフリー法」が制定され、交通機関と建築物を中心にバリアフリー整備が進められてきました。JR北海道でも身体の不自由なお客様をはじめ、すべてのお客様が安心・快適に利用できる駅や車内環境づくりに取り組んでいます。

二〇二二年度は、バリアフリー



261系1000代 車いすスペース

基準改正を受けて、車両にお

ける車いすスペースの拡大に着

手。二〇二〇年四月二日以降に

新製する車両には、二列車ごと

に二カ所以上の車いすスペース

の設置が義務付けられたた

め、新製車両については車いす

スペースを二カ所設置していま

す。一方、それ以前に製造され

た既存車両は車いすスペースが

一カ所のため、二カ所へと順次改

修を進めています。対象とな

る列車は261系1000代の

特急「北斗」、特急「おおぞ

ら」、特急「とかち」で、全車両

の改修が終わるのは二〇二二

年度末の予定。なお、二〇二〇

年秋にデビューした261系5

000代の「はまなす」編成に

は、車いす二台分のスペースを

設置しています。

また、東北・北海道新幹線

や新幹線に乗り継ぐ特急「北

斗」に用意している「車いす対

応座席」を申し込みの利便性

を向上させるため、二〇二〇

年五月よりインターネットでの

申し込み受付を開始。JR北

海道のホームページ([https://](https://www.jrhokkaido.co.jp/nework/barrier/okarada.html)

[www.jrhokkaido.co.jp/new](https://www.jrhokkaido.co.jp/nework/barrier/okarada.html)

[ork/barrier/okarada.html](https://www.jrhokkaido.co.jp/nework/barrier/okarada.html))

から希望の列車や乗車区間

等を入力し、申し込むと、駅

で予約状況を確認して、手配

の結果をお客様に連絡しま

す。手配完了後、JR北海道

内のみどりの窓口できつぷを

購入する流れとなります。

## 講習会を定期的に実施し 心のバリアフリーを推進

二〇一八年、二〇二〇年にバ

リアフリー法が改正され、施

設整備などのハード面に加え

ソフト面の強化も図っていま

す。それが、「心のバリアフ

リー」(※)の推進です。

JR北海道では、国土交通

省の「接遇ガイドライン」に準



新入社員による介助訓練

拠したプログラムや障害のある方による講義を導入し、バリアフリー講習会を定期的に実施しています。新入社員の研修でも車いす体験など、心のバリアフリーについて考える機会を設けています。また、国土交通省が制作した多機能トイレのポスターを掲出し、真に多機能トイレを必要としている人が安心して利用できるような、利用マナー啓発の周知に努めています。

公共交通機関として、北海道における移動・輸送の「翼を担うJR北海道は、こうした取り組みを通して、すべての人が住みよい社会づくりを目指しています。

①

(※)心のバリアフリー様々な心身の特性や感じ方が異なる人々も、互いを尊重し、相互に理解を深めようとコミュニケーションを取り、支え合うこと。